



あなたも
チャレンジ

家庭菜園



園芸研究家
成松次郎

コマツナ べた掛け資材で害虫を防ぐ

図1 畑の準備

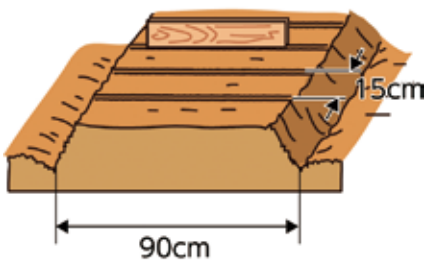


図2 種まき

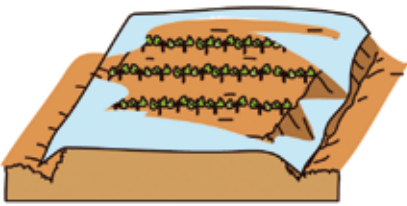
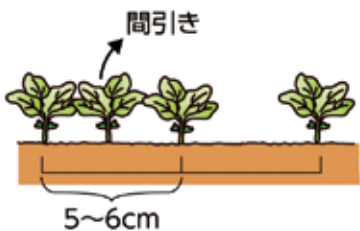


図3 間引き



(1) 子葉が重なる部分を間引く



(2) 草丈7~8cmのときに
5~6cm間隔に間引く

コマツナは耐寒性があり、冬の寒さで特においしくなります。ビタミ
ン類、カルシウム、鉄分を多く含む
緑黄色野菜です。

【品種】近年は葉が丸く、緑が濃い
品種が好まれ、秋冬まきでは「はま
つづき」(サカタのタネ)、「楽天」(タ
キイ種苗)、春夏まきでは「いなむら」
(サカタのタネ)、「菜々音」(タキイ
種苗)などが良いでしょう。

【栽培期間】一般地ではほぼ周年栽
培でき、草丈20~25cmを目標に、春
まき(3~5月)は30~50日、夏まき
(6~8月)は20~25日、秋まき(9
~11月)は30~60日で収穫します。
冬まき(12~2月)は、トンネルやべ
た掛け資材で保温し、60~90日で収

穫できます。生育が早く収穫遅れに
なりやすいため、1週間置きに少し
ずつまいて、長く収穫を楽しむのが
良いでしょう。

【畑の準備】種まき2週間前に1
㎡(平方メートル)当たり苦土石灰
100gをまいて畑をよく耕し、
1週間前に化成肥料(N:12% P:
8% K:12%) 100gと堆肥2~
3kgを施し、土とよく混ぜておきま
す。幅90cmの栽培床を作り、畝に直
角に条間15~20cmの種まき溝を切り
ます。このとき、まき溝は支柱や木
板を土に押し付け、溝を付けると深
さが一定になります(図1)。

【種まき】種が重ならないように
1cmくらいの間隔でまき、土を軽く

かぶせておきます。種まき後はべた
掛け資材を使い、乾燥や強い雨を防
ぐと同時に害虫の予防にも有効で
す。被覆は収穫の5~7日前に取り
除きます(図2)。

【間引き】初めは、本葉が見える頃
に子葉の重なっている部分を間引き
ます。その後、葉が触れ合う程度に
間引き、最後に5~6cm程度の間隔
にします。間引き後は株がぐらつく
のを防ぐため、株元に土寄せします
(図3)。

【病害虫の防除】生育期間が短い
ので、農薬の使用は生育初期に限りま
す。不織布のべた掛けやネット栽培
によりアブラムシ、コナガなどの害
虫の侵入を防ぎます。

【収穫】草丈20~25cm程度で根を付
けて抜き取り収穫をします。収穫が
遅れると葉が堅くなり、食味も落ち
てしまいます。

※関東南部以西の平たん地を基準に
記事を作成しています。

ご予約
受付中

園芸書 コーナー

家庭菜園の初心者から上級者まで、
幅広い方におすすめの園芸書を
ご紹介します。
野菜づくりの参考に、ぜひどうぞ!

野菜作りって
楽しいよ!!



●別冊付録 2021年野菜づくり カレンダー

その時期に育てることのできる野菜と、するべき作業が一目瞭然と立てられると毎年好評!通常の月めくりカレンダーのように壁に掛けて使え、作業予定や日々の記録、気温を書き込みます。巻末には、種まき・植え付けの一覧表もついています。

※内容は変わることがあります



やさしい畑 冬号 2020年11月2日発売 定価:922円(税込)

連作障害が怖くなる 年間合わせ植え図解

面積の限られた家庭菜園では、連作障害が悩みの種。それを回避する知恵として、もっとも実用的なのは、1つの畝につねに複数の野菜を育てることです。連作障害の回避にとどまらず、病害虫の予防・空間の有効活用・作物の競争&助け合い効果など、合わせ植えのメリットは計り知れません。年間作付け計画の参考ともなるよう、植え合わせの模範例をとことんお教えします。

